



健康 幸 せ 便 り

第19号

所在地・愛知県半田市亀崎北浦町2丁目15番1
コーポレートサイト・http://9383.jp



カレーは高齢者におすすめ!?

カレーは一年中食べられています。特に食欲の落ちる夏場に好まれています。実際、カレー製品が全国的にも最も売れるのは8月だそうです。市販のルーは15種類〜30種類程度のスパイスがブレンドされており、唾液や胃液といった消化液の分泌を促し、食欲を起すので夏バテ対策になります。

カレー粉の2〜3割の容量を占めて、黄色の色付けをしている「ターメリック」はウコンの根を乾燥させたものです。その主成分である「クルクミン」には、発ガンや老化をもたらす体の酸化を防ぐ抗酸化作用があり、ガンや動脈硬化などを予防すると言われています。さらに注目したいのは「ニンニク」の血栓防止効果です！

日本国際飢餓対策機構の機関紙「飢餓対策ニュース」で 当社のきずなASSISTが紹介されました

「飢餓対策ニュース」より抜粋 (当社HPでご覧いただけます)



山田社長(右)に清家常務理事から感謝状を贈呈しました

中京医薬品(愛知県半田市)では、まだ企業のCSR(社会的責任)という言葉が広く浸透していなかった1994年当時に、独自の国際貢献活動「きずなASSIST」をスタート。以来「世界の子どもたちに健康と教育を」をテーマに様々な団体や学校、行政などと持続可能な動きへの支援を続けておられます。当機構に対しては東日本大震災での置き薬プロジェクト、ウガンダでの医療施設への支援などがあり、今年度は、ケニア・シーブケア学校給食支援が行われます。きずなASSISTの取り組みについて山田正行社長にお話を伺いました。



私たちは、創業以来、「健康づくり、幸福づくり、人づくり」を企業理念に掲げ、パートナーであるお客さまとともに歩む企業でありたいと考えています。そして、お客さまとふれあいながら、健康づくりのお手伝いを通して幸福な暮らしをともに実現していこうという理念を広く世界という視野にまで広げたものが、私たち独自の国際貢献活動「きずなASSIST」です。

日本国際飢餓対策機構(JIFH)は、非営利の民間国際協力団体(NGO)で、アジア・アフリカ・中南米等の開発途上にある国々で、現地のパートナーを尊重し、互いに成長しあう協力関係を築きながら、人々のからだの飢餓とこのころの飢餓の解決のために活動されています。



郵便はがき
475-8790
935

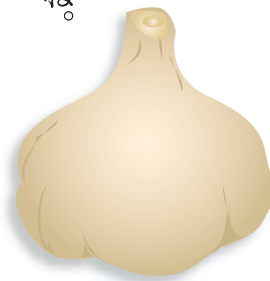
愛知県半田市亀崎北浦町2-15-1



お客様サポート室
健康幸せ便り第19号宛

半田局 承認
304
差出有効期間 平成27年 12月26日まで
切手は不要

お名前	※匿名希望・ペンネームの方も必ずご記入ください		男	女	歳
	(匿名希望・ペンネーム:)				
ご住所	※当社の広告・配布物等にお客様のコメントを掲載させていただくことがあります。不可の場合は右記に×を入れてください				
	〒				
お電話番号	※プレゼントクイズに応募の方は必ずご記入ください				
	お客様「お声」をお寄せいただいた方には、当社商品(ポイントカードにて)を進呈いたします。当社販売促進の広告などに掲載させていただいた方にはQUOカードを進呈いたします。				



この作用で血液の循環が良くなり、血栓をできにくくします。他に風味付けの「クミン」は消化促進作用があり、「コショウ」は消化促進や食欲増進、発汗作用といった具合にカレー効果は多種多様です。このように多彩なスパイスの薬効をふんだんに取り入れたカレーは病気の予防を兼ねられるんですね。実際、インドには胃ガンや食道ガンなどがきわめて少なく、それはスパイス効果と言われています。カレーは子供や若者に人気ですが、脳の血流を良くするという点では、とりわけ脳梗塞や認知症が心配される高齢者にこそ、お勧めの料理かもしれないですね。

